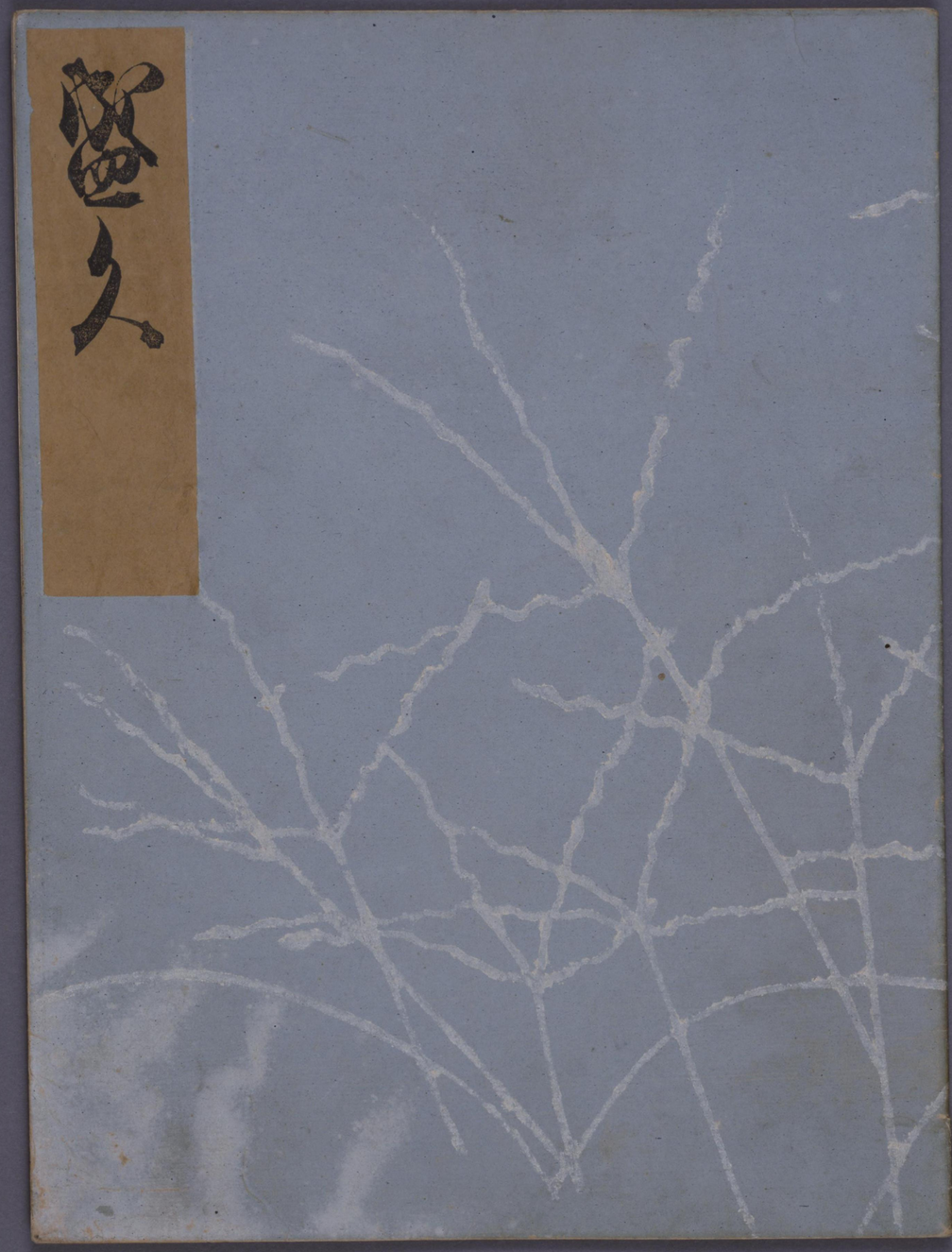

盛久

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-001

国立国会図書館

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-002
国立国会図書館

ニシテ詞

いつ小出屋殿より下へ来す然ん
我年月清水乃観世音を信し
毎日あ申見我こたるすなし
ど関東より下ぬなるそ見の限り
形る面し清水の方へ輿を立て
清里ん人ご覧後の気配ゆ以り来
ロヰ詞

安き事然清事東山若こまへ

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-003
国立国会図書館

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-004
国立国会図書館

高師山〳〵しほ見坂橋本の
濱名の橋を打渡り揺太このまゝ
きそ見せぬおもひきやおまわ
くわさよの中山ハこ夜ふけよ
かける湖瀬の大井河とり渡も
り清み山越て関ゆ清見潟
三穂のへ浦田子の浦にうち出て

こゝ悲ハいつしかな雪の富士の
根箱根山明行や星月夜そや
鎌倉に着にけり〳〵着中に
名もて藤澤深けや宇こせ
すゑさまし山を越ゑて渡りて
では関東に付きぬ南無観音菜花ハ
藤中の夢一寸の光陰を惜しむ乃

身や散つて雲井路修羅千世
友ともちぢまりし友人もなかりける世
なれや我ひとり鎌倉山の雲霞
実かと思ひなしひつやがくて
春気清人は西をさしてきんよわ
あはれ稀ともききつ稀なりや 此
思ひん あら痛はしや盛久乃

猶まても成作はやがて盛久へ
やがて土屋に案内して彼
渡まんく 盛久下向の由を披露
申せば盛久は大事の囚人
なれば思ひき誅しやごとの
御事もなく彼は痛はしくなりり
世院後の御用きとあるぬける

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-007
国立国会図書館

たる所しゞ（詞）ゆきは此年月清水の
観世音を信じしば清経を毎日
晩事なしば殊更々ハ宮はまを
ゆくそが乃清服を給ひ候ゆく
ば清経を読誦中度は（早詞）中々ゆ
す清心志清うに清読誦ゆく
お風もそまて於ゆ中ゆくし

（二十詞）あるまこまゝや大世大世ハ薩埵ゆ
此所で葉亦能将そ無薩乃直ゆ
とゆ（下カル）ゆ祝のゆゑ無孫ゆ世世を
たまゞゆき我引導したまへゞ
主ゆ利益もしうけそば生善所
をも誰かたゆまぞ二世乃願望
もしむかしくハ大王の誓約

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-008
国立国会図書館

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-009
国立国会図書館

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-010
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-011

国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-012
国立国会図書館

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-013
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

不思議乃御客
てハ先盛久
法前ニて
長て
ども
大也
志うる
事
一点
しま
歌

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-015
国立国会図書館

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-016
国立国会図書館

武略乃達者弟小は乱舞堪能の
由きこしめし及ひ祈たれ二年
小松殿小山ふて葬狩乃趣語若
清涼妻ゝ在いて宣る弟盛久
一如一拵弟ゝ関東とも隠なし
弟更ていよ詠うひ弟折な祈を
唯一さしとの清所宣なれ意て

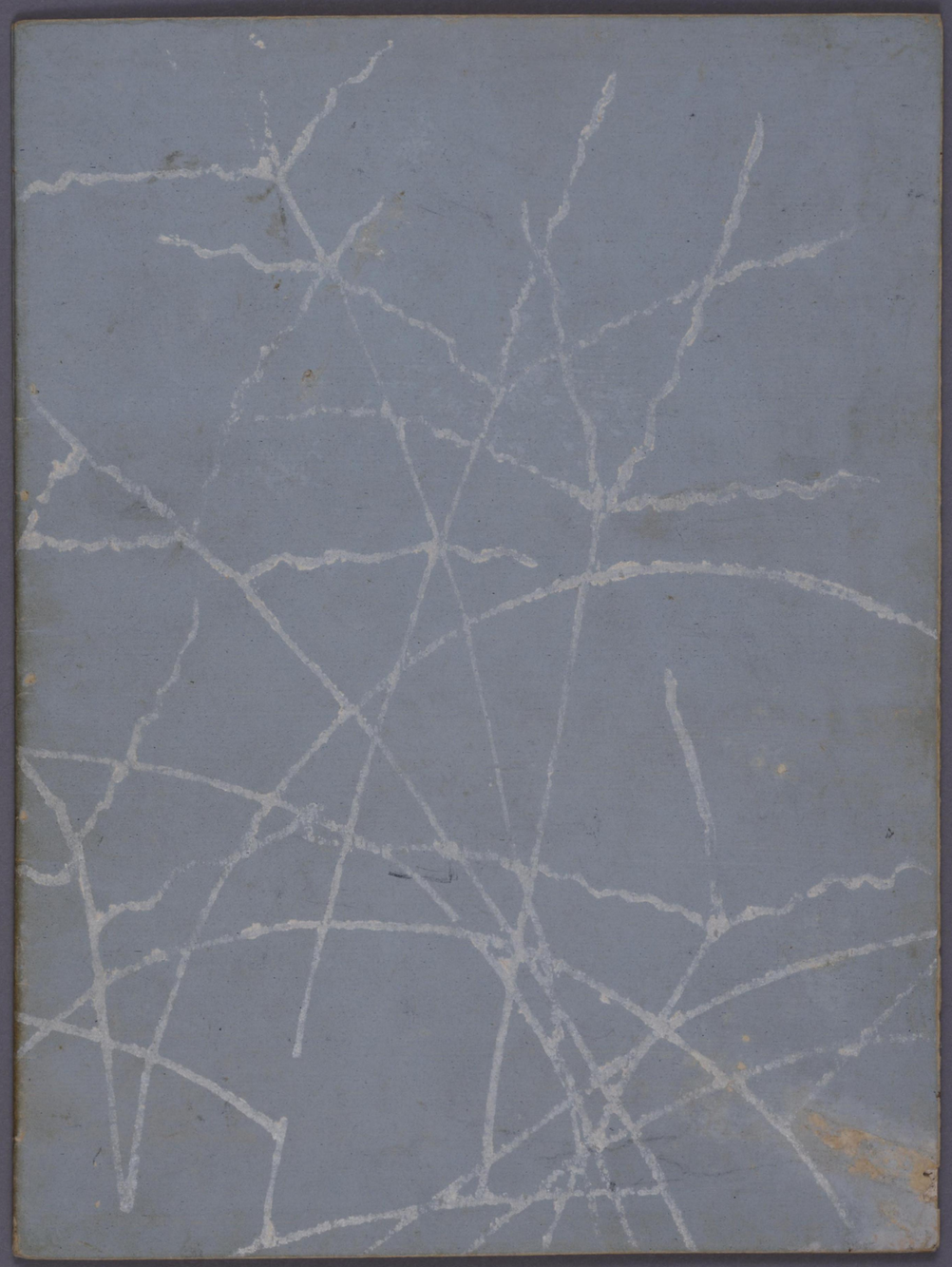
仕里人へ 辛詞 あるこゝあるこしく
えりたきそと幾さわうこきを
光前なれ盛久ゝ時苦ゝ
進ず無も清てためしかへられ
ゝ一一一一一一一一一一一一一一
ゝ一一一一一一一一一一一一一一
だおさまわなひく時な祈や二天
ゝ二二一一ゝ下一ゝ一ゝ一ゝ一ゝ一ゝ一ゝ
四海のうち乃見ゝが人若國まのを
一一ゝゝゝ二ハル二ゝ下一ゝ二一ゝ二一ゝ一ゝ一ゝ
日弟本乃諸越の原も此とゝ詠

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-017
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-018

国立国会図書館



[謡本] 盛久 1冊 WA7- 092-019

国立国会図書館